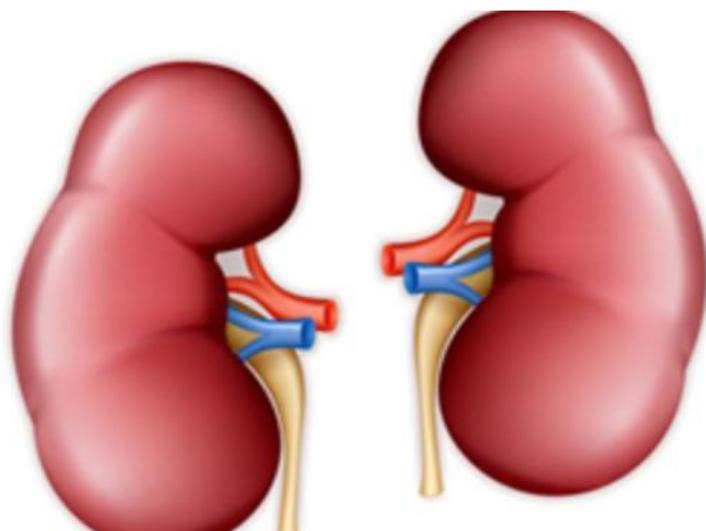


糖尿病性腎臓病薬バルドキシロンメチルについて

協和発酵キリンは、糖尿病性腎臓病（DKD）を効能とするバルドキシロンメチル（開発番号 RTA402）が、画期的な新薬を早期に実用化させる厚生労働省の「先駆け審査指定制度」に指定されたと発表しました。



バルドキシロンメチルの国内第Ⅱ相臨床試験 TSUBAKI では、2型糖尿病を合併した慢性腎臓病（CKD）ステージ G3 の患者において腎機能を明確に改善することが示されました。

同剤は、体内のストレス防御反応で中心的な役割を果たす転写因子「Nrf2」を活性化する低分子化合物。広範な抗酸化ストレスおよび抗炎症作用により、腎機能を改善させると考えられています。



糖尿病腎症に適応のある既存薬はいずれも腎機能の低下を抑制しますが、腎機能を改善する薬剤はないため、透析に移行する糖尿病患者が急増している現状から、今後の早期の開発が期待されます。

